

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：34004

| 「学ぶ力」 | |
|----------------------------------|---|
| 実態 | 成果 |
| | <p>◇共通指標アンケートで「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことができる」生徒の割合が9割程度と高く、自己調整する力がついていることがうかがえる。</p> <p>◇教科学習の中で、他教科、他単元での学びとのつながりを感じている生徒の様子が見られ、「活かす力」が育まれている。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の質問調査の結果では、「総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動に進んで取り組んでいる」生徒の割合が全国平均よりも9ポイント以上上回っている。</p> |
| | <p>◇他者と協働的に学ぶ姿勢はあるが、自分が思っていることや感じていることは伝えられても、自分の意見を進んで発言している生徒の割合は昨年よりも低くなっている。</p> <p>◇授業や活動に前向きに取り組む姿は見られるが、全国学力・学習状況調査の質問調査の結果では、「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合は全国よりも7ポイント以上下回っている。また、共通指標アンケートで「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が昨年よりも低くなっている。</p> |
| 「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題 | |
| | <p>◇共通指標アンケートで、「人の役に立ててうれしいと感じることがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」という相互承認に関連する項目について、肯定的な回答の割合が例年通り高い。ただし、他の項目に比べると、「自分が必要とされていると感じる」割合が低い傾向にあり、前年度から変化も少ない</p> <p>◇教師からの評価だけでなく、生徒がお互いの頑張りを認め合う機会を、行事以外の様々な場面の中にも意識的に設けることで、生徒の自己有用感が高まるような工夫をしていく必要がある。</p> |

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する力

| 取組 | 課題探究的な学習の推進 に向けて | 自主的な活動の充実 に向けて |
|------------------------------|---|--|
| | <p>(1) 重点のひとつである「授業力の向上」に基づき、他教科を含めて、お互いの授業を観察、交流する機会を設定する。</p> <p>(2) 「学習課題の解決に向け、学びの見通しを立て、探究の方法を検討する場面」「学習の中に自己選択・自己決定する場面」「自らの成長や学びの進捗を自覚できる場面」を意図的に位置づける。</p> | <p>① 伝統やきまりなど、学校のあり方を全校生徒で考える、生徒会中心の「学校づくりプロジェクト」の実施。</p> <p>② 友だちを大切にできる学級及び学校づくりに取り組むことを目的とした、生徒会中心の「友達を大切にしようプロジェクト」の実施。</p> <p>③ さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進。</p> |
| 「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について | | |
| | <p>◇主に(2)について、Google スプレッドシートで学びの蓄積を、オクリンクを活用して他者との考えの交流を図る。</p> <p>◇主に①②について、Google フォームで個人の意見を集約し、ワードクラウド等で可視化するなど、ひとり一人の考えが反映されるようにする。</p> <p>◇主に③について、生徒会とパートナー校の児童会とのオンラインミーティングの機会をつくり、子ども同士の声をつなげられるようにする。</p> | |

<本プログラムの実行に向けて>



